

令和2年度の重点課題

○令和2年度 新体力テストの実施無し

○平成31年度重点課題

「握力」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均かつ全国平均より低い学年が多い。

運動の実施時間が短い。

これらの課題から、令和2年度は「ボール投げ」を重点課題として設定した。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

①体育科での取組

年間を通して、体育の授業の始めに、準備運動の一環として、グラウンドの遊具や体育館のランニングコースを活用したサーキットトレーニングを全学年で取組んだ。

6月の「ボール投げ」の測定結果を受けて、全学年の体育の授業で「投げる」運動を積極的に取り入れた。

②体育科以外での取組

体育委員会が、ボールを遠くに投げるコツの掲示を作成し、全児童の意識を高めるように取組んだ。

③家庭学習（長期休業等）での取組

長期休業中などでは、家の中や、家族でできる運動（おうちトレーニング）や、縄跳びの課題を出し、目標をもって自分で運動できるように取組んだ。

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和元年度）・全国平均値（令和元年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.67	20.30	29.10	43.00	59.12	9.32	150.75	23.80	54.15	第5学年	15.19	18.19	37.85	38.21	39.90	9.69	143.33	15.39	54.37

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果（県平均値（令和3年度）・全国平均値（令和2年度）との比較）

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.67	20.30	29.10	43.00	59.12	9.32	150.75	23.80	54.15	第5学年	15.19	18.19	37.85	38.21	39.90	9.69	143.33	15.39	54.37

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	71.2	19.2	3.8	5.8	第5学年	56.86	31.37	9.80	1.96

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備運動としてのサーキットトレーニングを確実に実施する。課題の大きい、柔軟性と俊敏性を高める運動を準備運動に取り入れる。

○授業の中で、十分な運動量を確保する。

○運動が楽しいと思えるような、授業の内容を工夫する。

体育の授業以外で行う取組内容

○休憩時間に外遊びを推奨していく。

○長期休業中には、家庭学習での体力づくりを実施する。

○新体力テストの結果を家庭に伝え、家庭と連携して体力づくりをしていく。

重点課題

○男子

「20mシャトルラン」と「ボール投げ」以外は、令和元年度の県平均及び全国平均より低い。特に、「握力」「長座体前屈」は、課題が大きい。

○女子

「長座体前屈」と「ボール投げ」以外は、令和元年度の県平均及び全国平均より低い。特に、「20mシャトルラン」「反復横跳び」は、課題が大きい。

○アンケート結果から

運動やスポーツをすることがきらい、ややきらいと答えた児童の割合が、男子は9.6%、女子は11.7%であった。

令和4年度の重点目標値

・体力向上への意識を高めるために、来年度も全学年で新体力測定を実施する。